第7回　関大合格への最短距離　パラグラフの実際②

<文責：大学受験予備校Filio 島村青児>

前回の講義は理解できたかな？文と文の論理的な関係を利用すれば、訳せなくても問題が解けることを少しは納得してくれたかな？

前回の講義の復習

第1文:　Treasured objects have special significance for people who invest them with personal meaning.

テーマ

【①重要な内容は第1文で述べられる】

第2文:　Often cherished objects serve as visible links to loved ones, events, or traditions of the past.

第1文とイコール関係

【①全体→部分】（手がかり:頻度副詞Often）

第3文:　I treasure an ancient necklace I found among my grandmother's possessions after she died.

第4文:　I never saw her wear it. It was, in fact, a gift from her closest friend's daughter after her friend's death, and thus a link to someone close to my grandmother.

第5文:　A girl who lived with me once borrowed it without my permission and lost it. She found it later, but I felt sad while it was missing and somehow happy again after it was recovered.

第2文と第3～第5文はイコール関係

【②抽象→具体】（手がかり:現在形→過去形）

最終文:　As is the case with most treasures, there is much mystery in my attachment to this necklace ; I do not know what it really means, but it means a lot.

第1文とイコール関係

【④リフレインの構造】

パラグラフの内容のまとめ

① 人はobjectsをtreasure（＝cherish）する（第1文）

② 私はan ancient necklaceをtreasureする（第3文）

③ necklaceが何を意味しているのかわからないが多くのことを意味している（最終文）

次のパラグラフの内容をイメージする

文と文の論理的関係はパラグラフとパラグラフの関係にも当てはまるんだ。第1パラグラフの内容から論理的に第2パラグラフの内容をイメージできるかな？手がかりは最終文だよ。

最終文のもう1つの働き　Bridge

前回の講義で述べたように、パラグラフの最終文は2つの働きがある。（1）リフレインによるテーマの繰り返しと、（2）次のパラグラフへのBridge（橋渡し）の働きだよ。最終文がBridgeの働きをしていればパラグラフ間の論理の流れがスムーズになるんだ。さあ、このパラグラフの最終文からどんなことが読みとれるのかわかるかな？

I do not know what it really means, but it means a lot.
「necklaceが何を意味しているのかわからないが多くのことを意味している」

この最終文で手がかりになるのはit means a lot.「多くのことを意味している」だよ。もしこれがit means three things.だったらどう？第2パラグラフの内容がイメージできるでしょ？つまり【全体→部分】【抽象→具体】のイコールの論理展開で第2パラグラフには次の内容が述べられるはずだよね。

「treasureされるobjectsには様々な意味があるが、何を意味しているのかわからない場合もある」の具体例

じゃあ、次のパラグラフを読んで予想のイメージが正しかったかどうか確かめてみよう。

Children form attachments to objects at an early age. Most children select a blanket or toy animal to cherish. Usually it is one that they have nearby as they fall asleep. Typically the object produces a sense of comfort and its soothing qualities may substitute somewhat for the attention of loved ones.（第2パラグラフ前半）

第1文:　Children form attachments to objects at an early age.

この文で手がかりになるのはまずChildrenだ。「子供たち」は第1パラグラフ第1文のpeople（全体）に対する（部分）を表していて【全体→部分】のイコール関係。つまり予想イメージは正しいと確信が持てるんだ。これがわかれば、treasure＝form attachments to objectsもOKだよね？さらにat an early age.もチェック！第1文にearly ageってあることは、この後「時系列」の展開が予想できる。

第1文と第2文Most children select a blanket～第3文Usually it is?.はイコールの関係【①②】

手がかり：主語に数量形容詞が付いている場合は【部分】を表し、直前文とイコールの関係になる。また第3文のUsuallyは「頻度副詞」の仲間。

ここまでの第2パラグラフの内容は『子供はearlyな年齢でblanketやtoy animalなどをtreasureする』

第4文Typically the object produces a sense of comfort and its soothing qualities may substitute somewhat for the attention of loved ones.

はどのような内容を述べているのかイメージできるかな？
第2パラグラフの内容の予想イメージを思い出してな。そう！この第4文は『treasureされるobjectの意味』を具体的に説明しているんだ！だから、the object produces a sense of comfort『blanketやtoy animalは子供にとってa sense of comfortという意味がある』、its soothing qualities may substitute somewhat for the attention of loved ones.『the attention of loved onesという意味がある』と読むんだよ！

ここまでの論理的な読み方は理解できたかな？じゃあ、宿題だよ。『この第2パラグラフの前半に続く中盤、後半にはどのような内容がかかれているのか論理的に予想しなさい』正解は次回講義で！
みんなガンバレ！！